

たいよう

葵が丘小学校
ことばの教室便り
平成30年9月号



楽しかった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。
大人が思っている以上に、この時期は子供たちは新しい学期に期待し、とても張り切っています。ところが、頑張り過ぎて、10月頃に息切れをしてしまう子も少なくありません。頑張らせることも大切ですが、時には「大丈夫だよ」と息抜きさせてあげることも重要な時期であると思います。

スタートにあたって…

- ☆ 園や学校が始まったからといって、慌ててあれもこれも元通りにすることを要求せず、無理なく元のペースに戻していきましょう。
- ☆ 早寝、早起きを心掛けさせ、疲れがたまらないように気を配ってください。
- ☆ 園や学校に喜んで行っているか等、帰宅後の態度や表情から子供の心を察し、気掛かりなことがあったら早めに園や学校に相談しましょう。



3日(月) ことばの教室 2学期指導スタート

17日(月) 敬老の日

24日(月) 秋分の日(振り替え休日)

26日(水) ことばの教室の研修会参加のため、全クラス指導がありません。

9月の予定

ことばの教室 親の会への入会をお願いします…

「同じ悩みを持つ親同士、交流の場」として発足していますが、縁あって、ことばの教室に通級することになった保護者同士が協力して、ことばの教室の環境の改善や、例えば「もう少し近いと通わせやすいんだけどな・・・」などの通級をしている保護者でなければ分からない要望などを市や県や国へ伝える唯一の機関となっています。親の会の毎年の要望によって、ことばの教室設置校は増えつつあります。

また、ことばの教室には学年費や教材費がありません。静岡県の親の会の補助金によって、毎時間の授業に必要な教材やおもちゃの多くを購入させてもらっています。まだ、入会されていない方はぜひ入会をお願いいたします。□

こんな子いるかな？3つのよくあるケースの効果的な対応

会話に割り込んでしまう！

人の話が聞けない身勝手な子と思われがちです。

考えられる背景

- 思いついたことを我慢しておけない。
- 衝動性があるために、よく考えないで話をしてしまう。
- 会話の基本マナーをそもそも知らない。
- 相手がどう思うか考えられない。
- 場の空気が読めない。 など

※周囲の子にも「うっかり話し方のルールを忘れちゃったんだね」と話し、お互いの関係に溝ができないように配慮します。

一声かけるように教える

人の会話には、「ぼくも話に入れて」などと断ってから加わることを教えます。

話す前にひと呼吸おさせる

衝動的に話してしまう子には、話す前に3つ数えさせるよう指導します。ひと呼吸おくことで話すタイミングをコントロールできる場合があります。

場の空気が読めない！

低学年のうちはいいけど、中学年を過ぎると周囲から非難されがち！

考えられる背景

- 人の表情から気持ちを想像するのが苦手。
- 社会性に乏しく、的下記に状況を判断できない。
- 暗黙の了解が分からない。 など

※状況を理解していても、衝動的に行動してしまう子には、行動を起こす前に一呼吸おくことを学ばせます。深呼吸するなど、自分に合う方法が見つかるように、いろいろと試してみることが必要です。

その場で状況をこぼで解説する

状況理解の弱さが空気の読めない行動につながりやすいため、先生が、いま相手がどう感じているのかなどを解説して理解させます。

失敗した状況を一緒に振り返る

実際に失敗した状況について振り返り、どの場面がいけなかったのかを一緒に考えます。

自信がもてない！

好奇心や意欲も失われ、集団にも溶け込みにくくなる。

考えられる背景

- 過去に否定されてきた経験がある
 - ほめられた経験が少ない。
 - 他人からどう思われるかが気になる。
- いろいろな価値観があることを受け入れにくい。 など

※普段から否定的な伝え方（例：×「宿題おわるまでお絵かき禁止」）ではなく、肯定的に伝えるようにしましょう（例：○「宿題が終わったら、お絵かきしていいです」）

叱るよりほめる

叱る プロセスをほめる

注意するときには感情的に叱ったりせず、落ち着いた口調で静かに指摘するようにします。そのうえで、少しでも改善のようすがみられればほめるよう努め、自信をつけさせます。

自分や他人の長所を見つける活動をする

自己肯定感を養うために、帰りの会などで自分の長所を発表したり、他人の長所をほめたりする活動を取り入れましょう。

